

学校だより



せんだん

学校教育目標 よりよい答えを求めて、ともに学び続ける高瀬っ子を育てる

日田市立高瀬小学校
第8号

令和7(2025)年11月26日

文責：校長 山口 健

高瀬小HP



創立150年の節目に感謝を込めて ― 記念式典のご報告 ―

当日は、日田市長 棕野美智子様、日田市教育長 江嶋久典様をはじめ、多くのご来賓、歴代校長、地域や育友会関係者の皆様にご臨席を賜りました。

式典では、ご参列の皆様とともに校歌を斉唱し、150年の歩みを振り返りました。地域や保護者の皆様の長年にわたるご支援、そして子どもたちのまっすぐな成長への願いに、あらためて感謝の思いを深くいたしました。また、式典には5・6年生の児童も参列し、澄んだ歌声や真剣なまなざしで、この節目の日をともにしてくれました。その姿には、これまでの伝統をしっかりと受け継ぎ、未来を担う頼もしさが感じられました。

校長式辞では、創立以来大切にしてきた「人とのつながり」や「自然への敬意」、そして校訓「真実・自主・協同」の心を振り返りながら、「よりよい答えを求めて、ともに学び続ける高瀬っ子を育てる」ことの大切さをお伝えしました。

この記念すべき式典の開催にあたり、ご尽力いただきました記念事業実行委員会の皆様、育友会の皆様、関係者すべての皆様に、心より感謝申し上げます。

これからも本校は「地域のプラットホーム」として、学校・家庭・地域がともに学び合い、子どもたちをまんやかに、心をひとつにして歩みを進めてまいります。



鼓笛隊によるオープニング・セレモニー



記念式典・感謝状贈呈



バルーン・セレモニー



餅つき大会

記念行事の様子は学校ホームページの「フォトギャラリー」からご覧いただけます。

「あたりまえ」を 「ありがとう」に変えた修学旅行



10月23日(木)～24日(金)、6年生が長崎・熊本方面への修学旅行を実施しました。子どもたちのしおりには、めあての一つとして「全員が自分と友だちの成長したことが言える」と記されていました。この2日間で、子どもたちがどんな成長を見せてくれるのか——その姿を楽しみに見守りました。

1日目、長崎では被爆体験者の陸門良輔さんからお話を伺いました。子どもたちは真剣な表情で耳を傾け、語り手の思いを自分のこととして受け止めていました。お礼の言葉では、「平和を守っていくために、今日聞いた話を広めていきたい」「けんかや争いをなくして平和について考え続けていきたい」と、自分の考えたことをしっかりと伝えており、そこには陸門さんへの感謝の思いと、平和への誓いが込められていました。

その後、長い道のりを歩いてホテルに到着した時のことです。お部屋のポットの水を飲み、「こんなに冷たい水がある!」と声を上げた児童がいました。「ホテルの人が自分たちのために用意してくれた」という相手の心遣いへの気づきが、その言葉に込められていました。こうした気づきが仲間の中にも広がり、1日目の終わりには「ありがとう」の心があちらこちらで見られました。

その夜の教職員ミーティングでは、1日目の子どもたちの行動を振り返りながら、「この修学旅行を通して、感謝の心をさらに広げていこう」と確認しました。

そして翌朝、担任の先生から子どもたちに「ありがとう」という言葉をテーマに話をしました。

2日目の子どもたちは、旅行スタッフの方への言葉づかいや、ガイドさんのお話の聞き方に変化が見られました。初めはただ聞いていた子どもたちが、次第にうなずきながら、

目を合わせながら、一つひとつの言葉を受け止めるように聞く姿へと変わっていききました。その姿には、「ありがとう」の心が自然に形となって表れていました。

子どもたちはこの修学旅行をとおして、「あたりまえ」ではなく「ありがとう」で社会が支えられていることに気づきました。

ホテルなど、旅行スタッフの方にとっての子どもたちは「お客さま」です。しかし、客である自分たちが「ありがとう」と伝えることは、社会人としてとても大切なことです。それは、お金やサービスのやりとりではなく、相手の思いに気づいたときの「心への返礼」だからです。

こうした学びをとおして、子どもたちは「受け取るだけの存在」から、「思いを感じ取り、感謝を伝えられる人」へと成長していました。この2日間で育った「ありがとうの心」を、これからの日常にも生かしてほしいと思います。

日田市人権フェスティバル出演

11月22日(土)、パトリア日田で開催された「日田市人権フェスティバル」に、5・6年生が出演しました。

今回の出演は、観光祭音楽大パレードの雨天中止を受け、これまで子どもたちが積み重ねてきた努力を地域の皆様にお届けする「次なる発表の場」として位置付けたものです。

会場いっぱいのお客さまの前で、心をそらえた力強い演奏を届けました。たくさんの拍手をいただき、子どもたちも大きな達成感を味わったようです。

また、会場では「手話サークルあさぎり」の皆さんの発表や、「日田もりあ下駄い」の皆さんのステージも参観し、表現することの喜びや、人と人がつながる大切さについてあらためて感じる時間となりました。

本号で掲載しきれなかったHPの記事例

- 10月21日 3年生 社会見学
 - 10月22日 折り鶴をたくす会
 - 10月27日 縦割りチーム遊び
 - 10月28日 5年生 脱穀体験学習
一輪車贈呈式
 - 10月30日 2年生 社会見学
 - 11月4日 日田教育事務所訪問
 - 11月12日 6年生 APU 留学生との交流
 - 11月20日 高瀬っ子フェスティバル
- 授業の様子も常時更新しております!